

無人島アドベンチャーキャンプ2018 ～協働、挑戦、感謝 君の夏～

開 催 要 項

- 1 趣 旨 近年、科学技術の急速な進歩や経済の発展に伴い、生活水準が向上し、便利な生活が送れるようになった。その反面、都市化や情報化社会の進展に伴い、子供たちの様々な生活体験が不足し、社会性の未熟さや精神的な自立の遅れ等が課題となっている。そのため、コミュニケーション能力や他人を思いやる心などの豊かな人間性を育み、様々な自己決定の経験を通して精神的な自立が促せるよう、各発達段階に応じた体験活動の推進が求められている。
- 無人島における集団生活は、豊かな自然環境に恵まれ、体験活動の場として大きな可能性を持つ反面、「不便」「不足」「不自由」な厳しい生活環境となる。その中で、各地域から集まった仲間たちと協働し、対峙する困難を乗り越えることで、協働や挑戦する事の大切さを学ぶことができる。また、人間の力が及ばない自然の偉大さに気づかせ、自然、家族、仲間への感謝の念を育むとともに、無人島で「生きる」技能を学び、その実践を通して自信を持たせることで自立を促すことを目的とする。
- 併せて、施設の特徴や立地条件を活かした活動プログラムを企画立案し、事業の成果を明らかにして、その普及・活用を図ることとする。
- 2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立沖縄青少年交流の家
- 3 後 援 沖縄県教育委員会、渡嘉敷村、渡嘉敷村教育委員会、琉球新報社、沖縄タイムス社
- 4 期 日 平成30年7月23日(月)～7月29日(日) 6泊7日
- 5 場 所 国立沖縄青少年交流の家キャンプ場および渡嘉敷村儀志布島
- 6 対 象 小学5年生～中学3年生
- 7 定 員 24名(小学生12名、中学生12名)
- 8 内 容 (1) 無人島での生活(班別活動、ソロ活動)
大型カヌーでの上陸、漁労活動、野外炊事、無人島内散策等
(2) 無人島生活に必要なスキル「生きる」技能の習得
ビバークテント設営、スノーケリング、魚釣り、魚さばき、貝採集、野草採集、塩づくり、火起こし、ロープワーク等
- 9 日 程 平成30年7月23日(月)～7月29日(日) 6泊7日

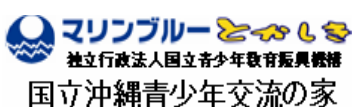
| 月 日(曜) | 活 動 内 容 | | | 活動場所 |
|----------|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------|
| | 午 前 | 午 後 | 日没後 | |
| 7月23日(月) | 〈渡嘉敷港へ移動〉 開講式 アイスブレイク | 班の話し合い 野外炊事研修 ビバークテント設営研修 | 班での話し合い 装備品パッキング ふりかえり | キャンプ場 |
| 7月24日(火) | 儀志布島へ 7:30 大型カヌーにて移動 | スノーケリング練習 漁労講習会 食器づくり | ボンファイヤー ふりかえり 無人島での目標設定 | 儀志布島 |
| 7月25日(水) | 班別活動 漁労活動、塩づくり | 班別活動 漁労活動 | ボンファイヤー ふりかえり | |
| 7月26日(木) | 班別活動 漁労活動、塩づくり | 班別活動 漁労活動 | ボンファイヤー ふりかえり | |
| 7月27日(金) | 班別活動 ソロ活動準備 | ソロ活動 | ソロ活動 | |
| 7月28日(土) | 班別活動 ソロ活動ふりかえり 漁労活動 | 班別活動 漁労活動 分かち合いの集い準備 | 分かち合いの集い | |
| 7月29日(日) | 機材撤収 7:30 移動(船) 機材片付け | ふりかえり アンケート・感想文記入 | 〈那覇泊港へ移動〉 無人島キャンプ報告会 ～解散～ | 那覇市内 キャンプ場 |

- 10 参加費 10,000円(食事代、保険代、Tシャツ代、雑費等) ※渡嘉敷島で徴収します
上記以外に泊～渡嘉敷間の往復船舶代として小学生1,500円、中学生3,000円
が必要になります。
- 11 申込み 平成30年6月9日(土)～6月16日(土) (必着)
別紙の参加申込用紙に必要事項を記入の上、下記までE-Mail、FAXまたは郵送にてお申込みください。
(E-Mail、FAXでのお申込みの際は送信後、お電話にて確認をお願いいたします。)
※応募者が多数の場合は、様々な年齢、地域、学校から参加できるよう、学年・性別・地域や学校などを
考慮し、厳正な抽選を行います。また、申込書の「無人島アドベンチャーキャンプの目標」への記
入(本人直筆)をお願いいたします。
※参加決定のお知らせは、受付締め切りから10日以内の必要書類発送をもってかえさせていただきます。
※定員に空きがある場合には継続受付いたします。
- 12 持ち物 ・着替え ・水着(ラッシュガード:長袖) ・マリンシューズ(運動靴でも可) ・帽子 ・水泳帽
・サンダル(クロックス型は砂をかんで不便です) ・タオル ・軍手 ・雨合羽 ・水筒(1.0～1.5リ
ットペットボトル可) ・洗面用具 ・リュックサック ・ヘッドライト(頭部装着用ライト) ・予備乾
電池(ヘッドライト用) ・筆記用具 ・健康保険証(写し可) ・日焼け止めクリーム ・サングラ
ス ・常備薬 ・参加費(渡嘉敷島で初日に徴収します)
上記の物以外は持ってこないでください。
- 13 留意点 ・那覇市泊港「とまりん」まで保護者での送迎を原則とします。
【送り】7月23日9:00に受付をし、その後に乗船券の購入となります。渡嘉敷島までは交流の家職
員が引率します。
【迎え】7月29日17:30 那覇市内にて報告会(17:30～18:30)を行います。
・主催者側の判断により、プログラム途中での保護者への引き渡しもありえます。その際は、那覇市泊
港で迎えをお願いします。
・天候によって日程の短縮、宿泊場所の変更が生じる場合があります。
・特別に体を鍛えたり、豊富なキャンプ経験などの必要はありませんが、参加者は健康であることが必
項条件です。参加決定者には後日、医療機関発行の健康調査書を提出していただきます。
・キャンプ中は十分な水分補給が可能ですが、漁労活動の状況等によっては、多少、空腹で過ごすこと
も考えられます。また、食材は捕獲した魚や貝が中心となり、食物アレルギー等への対応は困難です
ので、あらかじめご了承ください。
・無人島を楽しむ企画ではありません。厳しい生活環境の中、様々な困難を乗り越える体験を重視した
プログラムです。そのため、無人島での生活を含む7日間を集団で生活する「このキャンプに参加し
たい」という本人の強い意志が必要となります。

※本事業中に撮影した写真や制作物、感想文等を当機構の事業報告書や広報等に使用し、ホームページにも掲載することが
ありますので、不都合のある場合は事前にご相談ください。

※調査、研究のためのアンケート等にご協力いただくことをご了承ください。

※ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等
に基づき適切に管理し、この事業に関する事務にのみ使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示する事はありません。



問い合わせ：国立沖縄青少年交流の家 企画指導専門職 真壁 義隆

〒901-3595 沖縄県島尻郡渡嘉敷村字渡嘉敷2760

TEL 098-987-2306 FAX 098-987-2318

HP <http://okinawa.niye.go.jp/> メール okinawa@niye.go.jp